

『行政改革プラン -NEXT STAGE-』の取り組み結果について

行政監理室 ☎(32)6169

行政改革プラン-NEXT STAGE-は、平成27年度に『市民サービスの向上』と『行政費用の抑制』を目標として策定された計画です。令和元年度までの5カ年を計画期間とし、全104項目の取り組みを実施しました。この度、計画期間である平成27年度～令和元年度の取り組み結果がまとまりましたので、お知らせします

●これまでの主な取り組み

平成27年度

- ◆本庁舎の市民スペースにWi-Fiを導入
- ◆福祉総合相談窓口を設置
- ◆のぞみ出張所の土・日開所を開始
- ◆ふるさと納税の返礼品の送付を開始
- ◆公共施設への新電力（PPS）の導入
- ◆生活道路の街路灯のLED化

平成28年度

- ◆保育料のコンビニ収納を開始
- ◆モデル地域で家庭ごみの戸別収集を開始
- ◆福祉ふれあいセンターの開設
- ◆ふるさと納税にクレジット決済を導入
- ◆スポーツ都市宣言50周年記念事業を実施

平成29年度

- ◆苫小牧版総合窓口の設置に向けた検討を開始
- ◆各種証明書のコンビニ交付サービスを開始
- ◆防災メール・テレフォンサービスの開始
- ◆日本女性会議2017とまこまいを開催



平成30年度

- ◆財政基盤安定化計画<sup>セカンド ステージ</sup>Second Stageを策定
- ◆救急車増台による救急出動体制の強化
- ◆学校給食へのアレルギー対応食の提供体制を整備
- ◆モデル校で、コミュニティ・スクールの実践検証を開始
- ◆北栄児童センターを設置し、指定管理者制度を導入

令和元年度

- ◆総合窓口フロアの開設
- ◆児童センター5館に指定管理者制度を導入
- ◆受動喫煙防止条例の制定
- ◆LINE公式アカウントの導入



●これまでの取り組みによる効果額

5年間の取り組みにより、約46億円の効果を上げています。主な内訳は以下の通りです

ふるさと納税の推進	4億3,200万円
公共施設への新電力（PPS）の導入	4億2,200万円
未利用地の売却と資産の有効活用の検討	19億9,000万円
生活道路における街路灯のLED化	1億3,600万円



市では、有識者、一般公募の委員で構成する『苫小牧市行政改革推進審議会』を設置しています。この審議会は、市長の諮問に応じて調査審議するほか、行政改革の取り組みの進捗状況をチェックする機能を果たしています。この度、行政改革プラン-NEXT STAGE-の取り組みの有効性について、審議会より市長へ意見書が提出されました。取り組み結果や審議会意見の詳細については、行政監理室☎をご覧ください